

授業科目 生物学			
	基礎分野 科学的思考の基盤		
授業担当者 大学からの非常勤講師	開講時期	単位	時間数
	前期	1 単位	30 時間
授業の目的 1. 生物学における基礎的概念を学ぶ 2. 生命科学技術の現状を学び、それに関わる現状の諸問題に対して、将来医療者としてまた一個人としてどのように向き合えばよいのかを考察する能力を学ぶ。			
授業の目標 1. 生命観の変遷について概説できる。 2. 生命の誕生の考え方について概説できる。 3. 生命、生命現象を概説できる。 4. 遺伝の仕組みを概説できる。 5. 現代の諸問題を理解し、医療との関わりまたは環境との関わりを考察できる。			
授業概要 我々人間はもちろん生物である。生物学は生物の理解を目指すものであるが、その最終目的は人間の理解にあるといえる。そこで、この授業では生物学が学問として成り立っていった過程および生命観の変遷を学ぶ。そして生命現象の基本事項や遺伝の仕組みなど、生物学における基礎的事項を学ぶ。さらには日々進歩している生命科学技術についても要点を学ぶ。また基礎的概念の理解を深めるために、トピックス・実験・観察を取り入れて学習する。			
授業計画(進め方) 各授業のはじめに、可能な限り最新のニュースを紹介します。 トピックス・実験・観察の順番は変更になることがあります。タバコの害に強く触れます。			
1 回目 1、生物学史上の論争 1) 生物学の始まりとアリストテレス 2 回目 2) 生物学の大きな流れ 3 回目 3) 自然発生について 4 回目 2、生命の誕生・進化について 1) 生命の誕生についての考え方 5 回目 2) 始源生物は一匹 6 回目 トピックス その1 動物の血液について 7 回目 実験・観察 その1 動物の血液を実際に観察する 8 回目 3、生命とは・細胞とは 1) 細胞とその機能 9 回目 2) どこまでを生物というか 10 回目 トピックス その2 動物の体制について 11 回目 実験・観察 その2 動物の体制を実際に観察する 12 回目 4、遺伝の仕組み 1) DNA、RNA、タンパクの関係 13 回目 2) DNA と RNA の構造 14 回目 3) 遺伝子が原因である、遺伝病、遺伝子診断・検査、遺伝子治療 15 回目 5、生物学から捉える現代の諸問題			
テキスト 遠山 益著：「図説 生物の世界」三訂版 裳華房 各自、自主的に読み進めておくこと。			
参考書・指定図書 「” 生きている ” ってどういうこと？生命のしくみを探る生物学」培風館 「図解雑学 細胞のしくみ」「図解雑学 生物学」「図解雑学 遺伝子のしくみ」以上ナツメ社 「遺伝子時代の基礎知識」「絵でわかる細胞の世界」「好きになる人間生物学」以上講談社 「生物学超入門」日本実業出版社			
成績評価の方法 授業中の課題と筆記試験			